

在宅片麻痺患者における趣味活動獲得の規定因子に関する研究

1. 研究の対象

2011年4月～2018年3月に訪問看護ステーショングラーチアにおける訪問リハビリを受けた方

2. 研究目的・方法

訪問リハビリの目的は、主体性のあるその人らしい生活の再建及び質の向上を図ることです。主体性のある生活を獲得するには、日常生活の自立のみならず、趣味の獲得が重要であると考えられます。しかし、臨床場面では、後遺症の出現する脳卒中患者さんにおいて趣味の獲得が困難なケースを経験することが少なくありません。そこで今回、訪問リハビリを利用して、趣味を獲得できた脳卒中片麻痺患者さんの要因を調査していきます。

訪問看護ステーショングラーチアリハビリ部門では、訪問リハビリの開始時と終了時に訪問リハビリ担当者が身体機能評価や生活状況の評価を行っています。今回の調査には、このデータを用います。方法は、訪問リハビリを利用し、終了時に趣味を獲得できていた方と獲得できていなかった方のデータを比較します。

これらの研究は、2018年5月～2018年10月の間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報、生活状況の情報 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院訪問看護ステーショングラーチア
リハビリテーション部門 研究責任者 石森卓矢
住 所：群馬県伊勢崎市大手町1番1号
TEL：0270-20-1588 FAX：0270-20-7677